



鳩山消防団

鳩山消防団 第3分団

すぎき そうたろう
団員 鈴木 蒼太郎さん

Q. 消防団に入団したきっかけ

父が鳩山町で自営業を営んでいて、鳩山消防団に所属しており、幼いころからその姿を見ていました。
一度町外に就職しましたが、2年前に鳩山町へ戻り、家業を継ぐことにしました。その際に、消防団の方から入団のお声がけをいただいたことがきっかけです。

Q. 消防団の雰囲気について

最近若い方も増えてきましたが、親世代の方もいます。最初は身構えてしまいましたが、とても親切な方が多く、団員同士がお互いに自然な気遣いができています。

Q. どんな活動をしていきたいですか

パトロールなど、日ごろから活動をしっかり行っていきたいです。また、無いに越したことはありませんが、火災などの際には、消防署の方をサポートし、町の安全のための力になっていきたいです。

Q. 入団後の防災意識の変化について

入団する前と後では防災に対する意識が大きく変わりました。以前は、「個人の備え」が重要と考えていましたが、救助する側の視点で考えると、個人の備えを補うための見守りや声掛けといった「地域の備え」はさらに大切です。何が危険か、どのように対策すれば良いかを知っていれば、未然に防ぐことが出来る災害もあります。

ある研修で聞いた「犠牲になって良い人はひとりもいない」という講師の言葉が印象に残っています。この言葉に、消防団の存在意義が詰まっていると思います。消防団の活動を通して、ひとりでも多くの方に、正しい防災知識を身に付けていただきたいと思います。

Q. 仕事と消防団の両立はできますか

消防団全体として、仕事に支障のない範囲での活動が受け入れられており、今までの活動で仕事との両立に困ったことはありません。また、団員自身の生活も考慮してもらるため、出産や育児などに合わせて年単位で休団する団員もいます。

ただ、現在所属している団員の多くが役場職員であり、災害時などの本来消防団が出動する場面では、役場職員としての災害対応を優先せざるを得ないため、出動できる団員が確保できないことに歯痒さを感じています。

鳩山女性消防団

とみざわ のぶよ
部長 富澤 伸代さん



ともに守る仲間を募集しています



鳩山消防団では、消防団員を随時募集しています。本町に住所を有する18歳以上の方で、興味のある方は西入間広域消防組合警防課(☎ 295-0154)へお問い合わせください。

詳しくは西入間広域消防組合消防本部ホームページをご覧ください。



地域防災の要

私たちのまちで火災や災害が起きた時、駆けつけてくれるのは、消防署で働く消防士だけではありません。地域を守るため、自宅や職場から駆けつけて奮闘する人たちがいます。消防士とともに消火や救助活動に従事し、地域の安全・安心を守っている存在が「消防団」です。
土地勘や世帯の状況など、地元地域を熟知している消防団だからこそ、的確で迅速な対応が取れ、頼りになる存在になっています。
鳩山消防団は、各地域を管轄する3つの分団と女性団員、本団の役員で構成され、92人(令和6年6月1日現在)が在籍しています。団員の多くは個々の本業を持ちながら、地域に密着した次の活動を行っています。
「火災予防活動」「火災・災害発生時の消火・救助活動」「夜間巡回」「救命講習の実施」など活動内容は多岐にわたります。
このように地域に欠かせない消防団ですが、人手不足が深刻な状況です。鳩山町とともに「守る」仲間を必要としています。消防団にご興味のある方は、左記までお問い合わせください。